

【出題意図】

総合型選抜の小論文は、「大学の講義のミニ体験」だと考えて下さい。

動画(講義の代用)を視聴し、「内容を理解できていること」、「理解した内容を自分の経験や身の回りのことと結びつけて考えられること」、これらが評価対象となります。

◆みているポイント◆

・問 1 は「理解力」：動画の内容を正しく整理し、記述できるか

問 1 には“正解”があります。動画の内容を正確に理解し、短くまとめ、伝えることがポイントです。動画の中の重要な部分を 200 字で正しくまとめてください。

・問 2 は「考える力」：動画をきっかけに、自分の体験や社会の出来事とつなげ、深く考えられるか

問 2 には“正解”がありません。動画の内容を出発点にし、自分の体験や社会の出来事と結びつけながら、自分なりの考えを深めてください。どんな視点で書くかは自由ですが、動画の内容を土台にして、自分の発想を順序立てて書くことが大切です。

◆書くときの注意点◆

1. 動画内容と関係のある話を書きましょう！：動画と関係の薄い話は、ただの「自分語り」になってしまいます。

2. 自分の体験を書いたら、必ず動画の話に戻りましょう！：体験を熱く語りすぎて、動画内容との関連が尻切れトンボにならないようにしましょう。

以上のことから、問 1 と問 2 では、求められている文章が異なります。問 1 は「正しくまとめる」こと、問 2 は「広げて考える」こと、これらの違いを意識して、上手に書き分けてください。

出題年度：2025 年度

【模範解答】

<Ⅲ>

問1

- ① 活動中の会話分析の結果では、混合群の会話において、高齢者がまず「どうする?」「何を作る?」といった提案の要求を行い、次に若者が新しいアイデアを出し、さらに高齢者がそれに対して「いいね」、「それにしよう」などポジティブな反応をしていた。つまり、若者の提案や行動に対する高齢者からの「いいね」、「上手」などポジティブな反応、評価が、若者の活動に対しての満足感を高める要因になったと考えられる。(194 字)
- ② 中・高齢期になると、若い世代の人たちに対して、「教えたい」「世話したい」「助けたい」という心が強くなる。こうしたところを「世代性」(generativity)という。
実験では、高齢者は一緒に遊んでいる若者に対して、「何を作る?」と尋ねたり、相手の行動に対してほめてあげたりといった行動が現れていた。これらの行動は、何かお世話をしてあげたいなどといった、中・高齢者の世代性が影響していると考えられる。(188 字)
- ③ 実験では、高齢者は一緒に遊んでいる若者に対して、「何を作る?」と尋ねたり、相手の行動に対してほめてあげたりといったコミュニケーション行動がみられ、若者は活動後に「自分の思いどおりの活動ができた」と感じていた。このことから、高齢者の若い世代の人たちに対して、「教えたい」「世話したい」「助けたい」というところの「世代性」が、若者の活動の満足度の高まりに影響を及ぼしていたといえる。(189 字)

問2

【採点ポイント】 ※出題意図にて記載の通り、“正解”はありません。

・異世代間では行動に違いが見られることと、世代性を理解した付き合い方について記述があると加点。

どちらか一方のみの記述にならないよう、注意する。

・世代間にまつわる自身の経験を、分かりやすく記述できていると加点。

このとき、動画内容と自身の経験との関連を明記する。

・動画内容と自身の経験とを関連づけ、異世代間コミュニケーション行動について建設的な記述があると加点。